

わたしのことは

きのうの算数の時間に、九九を使った計算プリントをしました。

わたしは、算数がとくいなので、すぐに全部の問題をとい
てしまいました。早く終わったので、まだ終わっていない
かずやさんに、わからないところを教えることになりました
た。いっしょうけんめいに計算の仕方をせつ明したけれど、
よくわからないようです。

わたしは、だんだんイライラしてきて、

「かずやさん、こんな問題もわからないの。」

と強く言いました。

その後、かずやさんは、下
を向いてしまい、計算プリン
トをしなくなりました。

その時、チャイムがなった
ので、わたしは外に出て友だ
ちと遊びました。



今日の朝の会で、先生が、

「みなさんは、友だちにいやなことを言ったり、いじわるを
したことはありませんか。」

と聞きました。

わたしは、先生の言ったことを聞いてドキッとしました。かずやさんに言った言葉ことばを思い出したからです。

そして、下を向いたかずやさんの顔が急にうかんできました。先生の話はなしを聞いていて

も、しょんぼりしたかずやさんの顔が頭あたまからはなれません。

わたしは、「ひどいことを言ってしまった。」と思いました。が、すぐにあやまることができませんでした。



ひるやすひるやすみになって、わたしはかずやさんのところいに行き、「きのうは、『こんな問題もわからないの。』と言ってしまっ
ごめんね。」

とあやまりました。

かずやさんは、にっこりして、「いいよ、また教えてね。」
と言ってくれました。

わたしは、とってもうれしく
なりました。

